



## 2013年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2012年6月25日

上場会社名 株式会社 サンデー

上場取引所 大

コード番号 7450 URL <http://www.Sunday.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 直行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 成澤 真一 TEL(0178)47-8511

四半期報告書提出予定日 2012年6月29日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2013年2月期第1四半期の連結業績(2012年2月21日 ~ 2012年5月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
2013年2月期第1四半期	11,256 △12.8	103 △74.4	91 △75.6	49 —
2012年2月期第1四半期	12,904 9.4	401 —	374 —	△182 —

(注) 包括利益 2013年2月期第1四半期 46百万円(—%) 2012年2月期第1四半期 △188百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2013年2月期第1四半期	4 58	— —
2012年2月期第1四半期	△16 96	— —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2013年2月期第1四半期	30,826	7,478	24.3
2012年2月期	28,382	7,539	26.6

(参考) 自己資本 2013年2月期第1四半期 7,478百万円 2012年2月期 7,539百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2012年2月期	—	0 00	—	10 00	10 00
2013年2月期	—				
2013年2月期(予想)		0 00	—	15 00	15 00

(注) 直近に公表されている配当予想の修正有無: 無

### 3. 2013年2月期の連結業績予想(2012年2月21日 ~ 2013年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
第2四半期(累計)	26,050 △4.3	1,050 △18.2	1,000 △18.7	650 —	60 41
通期	51,100 —	1,830 —	1,770 —	910 —	84 58

(注) 1. 直近に公表されている業績予想の修正有無: 無

2. 2013年2月期は、決算期変更に伴い12ヶ月と8日(2012年2月21日~2013年2月28日)の変則決算となる予定であるため、通期業績予想は12ヶ月と8日間の予想数値を記載しており、対前期増減率については記載しておりません。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2013年2月期1Q	10,764,700株	2012年2月期	10,764,700株
② 期末自己株式数	2013年2月期1Q	5,150株	2012年2月期	5,150株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2013年2月期1Q	10,759,550株	2012年2月期1Q	10,759,519株

#### ※四半期レビュー手続きの実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については〔添付資料〕P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（2012年2月21日～2012年5月20日）における東北地域の経済は、東日本大震災の復興の動きが活発化しつつあり、緩やかな持ち直しが続いているものの、業種業態を超えた競争激化など依然として厳しい経営環境が続いております。当社グループでは、昨年の震災後に大きく需要が高まった日用品、自転車、乾電池等は反動減が見られました。さらに、今冬の豪雪の影響や長引く低温、記録的な暴風雨等の天候不順により、田植え時期が2週間ずれ込むなど農作業や家庭におけるガーデニングの大幅な遅れに伴い、春先の主力部門であるアグリ、園芸、生花を中心とした商材が4月度に大きな影響を受けました。

このような経営環境の下、当社グループでは、㈱サンデーにおいて被災エリア復興の一助となるべく岩手県大船渡市内に2店舗目となる大船渡野々田店を5月に新規出店いたしました。これにより当社グループの店舗数は、㈱サンデーのホームセンター45店舗、イオンスーパーセンター㈱へのコンセッションナリー参画15店舗、子会社の㈱ジョイ19店舗で合計79店舗となりました。

店舗活性化につきましては、ホームセンターらしい商材の強化および他店との差別化を目的として㈱サンデーにおいては久慈長内店、十和田店、スーパーセンター大館店の3店舗、㈱ジョイにおいては東根中央店、寒河江店の2店舗、計5店舗の改装を実施いたしました。また、被災エリアのニーズに一層対応するため、三陸沿岸に位置する㈱サンデーの釜石店、大船渡店、矢本店の3店舗において、木材やエクステリア等のホームケア商材を強化する部門改装を行い、好調に推移しております。

営業面では、自社開発商品およびイオンのブランド「トッパリュ」商品の拡販、収穫払いに対応したクレジットカード「アグリリッシュカード」のホルダー獲得、ネット販売の強化などを行ってまいりました。また㈱サンデーでは65歳以上のマイカード会員様への取り組みといたしまして、毎月15日の「ゆうゆう感謝デー」を全店で、また、配達料65円のサービス「楽楽サービス65」を青森県と岩手県の計13店舗でそれぞれ開始しております。さらに、イオングループの電子マネー「WAON」を㈱サンデー14店舗および㈱ジョイ3店舗、計17店舗へ新たに導入し、当社グループ合計27店舗へと拡大いたしました。

このような営業施策を行った結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）の連結売上高は112億56百万円（前年同期比16億48百万円の減）、連結営業利益は、自社開発商品の拡販や利益率の高いホームケア商材の好調等により㈱サンデーで0.3ポイント、㈱ジョイで1.5ポイントの商品荒利益率改善と㈱サンデーで徹底した商品管理による0.2ポイントの商品ロス削減が出来たものの、売上高減少により、1億3百万円（前年同期比2億98百万円の減）と前年を下回りました。また、連結経常利益は91百万円（前年同期比2億82百万円の減）、連結四半期純利益は前年同期から2億31百万円改善し、49百万円（前年同期は1億82百万円の純損失）と黒字転換いたしました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、期末日が金融機関の休日による現金及び預金の増加10億47百万円、春商戦の在庫増加9億53百万円（前年同期比では99百万円の減少）などにより、流動資産は23億16百万円増加し、新規出店や子会社の新システム導入等による有形固定資産の増加1億33百万円、長期貸付金及び差入保証金の回収による投資その他の資産の減少42百万円などにより、前連結会計年度末に対して24億43百万円増加し308億26百万円となりました。

負債については期末日が金融機関の休日による支払手形及び買掛金の増加21億39百万円、シンジケート・ローン返済に伴う短期借入金の減少28億85百万円及び長期借入金の増加31億60百万円等があり前連結会計年度末に対して25億5百万円増加し233億48百万円となりました。

純資産については配当金の支払1億7百万円、当期純利益49百万円の計上等により61百万円減少し74億78百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

2013年2月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では2012年4月5日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以降に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,149,677	2,196,982
受取手形及び売掛金	279,115	526,184
商品及び製品	8,038,515	8,992,090
原材料及び貯蔵品	79,861	122,537
繰延税金資産	402,095	377,915
その他	444,157	494,160
流動資産合計	10,393,422	12,709,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,490,920	6,489,599
機械装置及び運搬具（純額）	16,989	15,113
土地	8,513,046	8,513,046
リース資産（純額）	43,947	43,718
建設仮勘定	8,617	5,953
その他（純額）	286,513	425,693
有形固定資産合計	15,360,035	15,493,126
無形固定資産		
のれん	50,590	42,017
その他	102,844	147,710
無形固定資産合計	153,435	189,728
投資その他の資産		
投資有価証券	83,852	80,992
長期貸付金	784,954	729,797
差入保証金	1,281,133	1,265,313
繰延税金資産	54,905	56,054
その他	305,111	335,452
貸倒引当金	△34,099	△33,769
投資その他の資産合計	2,475,857	2,433,841
固定資産合計	17,989,328	18,116,695
資産合計	28,382,751	30,826,566

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,539,101	10,678,964
短期借入金	7,832,736	4,947,570
未払法人税等	75,724	21,075
賞与引当金	342,995	369,976
役員業績報酬引当金	15,720	7,816
店舗閉鎖損失引当金	24,456	24,456
ポイント引当金	188,663	196,344
リース資産減損勘定	28,250	24,340
その他	1,239,230	1,375,257
流動負債合計	18,286,878	17,645,801
固定負債		
長期借入金	1,282,900	4,443,098
退職給付引当金	449,000	441,841
役員退職慰労引当金	17,281	—
店舗閉鎖損失引当金	27,311	21,228
債務保証損失引当金	54,933	54,016
資産除去債務	402,320	416,089
リース資産減損勘定	31,109	26,317
その他	291,648	300,017
固定負債合計	2,556,505	5,702,609
負債合計	20,843,384	23,348,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,240,218	3,240,218
資本剰余金	3,254,597	3,254,597
利益剰余金	1,054,430	996,079
自己株式	△3,839	△3,839
株主資本合計	7,545,406	7,487,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,040	△8,899
その他の包括利益累計額合計	△6,040	△8,899
純資産合計	7,539,366	7,478,155
負債純資産合計	28,382,751	30,826,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年5月20日)
売上高	12,904,861	11,256,191
売上原価	9,256,239	7,973,813
売上総利益	3,648,621	3,282,377
販売費及び一般管理費	3,246,695	3,179,360
営業利益	401,926	103,017
営業外収益		
受取利息	2,501	2,047
受取地代家賃	19,323	19,284
受取手数料	13,289	3,069
その他	3,127	4,624
営業外収益合計	38,242	29,026
営業外費用		
支払利息	52,364	32,418
貸貸費用	7,793	7,572
その他	5,819	723
営業外費用合計	65,976	40,715
経常利益	374,192	91,329
特別利益		
受取保険金	70,000	—
貸倒引当金戻入額	150	—
債務保証損失引当金戻入額	892	—
特別利益合計	71,042	—
特別損失		
固定資産除却損	149	—
減損損失	41,517	—
投資有価証券評価損	27,535	—
災害による損失	296,849	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	23,139	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	209,031	—
その他	17,760	7,394
特別損失合計	615,983	7,394
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△170,748	83,934
法人税、住民税及び事業税	11,628	11,659
法人税等調整額	109	23,030
法人税等合計	11,737	34,690
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△182,483	49,243
少数株主損失(△)	△4	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△182,481	49,243



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△182,483	49,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,018	△2,859
その他の包括利益合計	△6,018	△2,859
四半期包括利益	△188,502	46,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△188,497	46,383
少数株主に係る四半期包括利益	△4	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年2月21日 至平成23年5月20日)

当社グループの報告セグメントは、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)

当社グループの報告セグメントは、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。